



南山教会納骨堂の完成イメージ (2013年11月完成予定)

誘惑に陥らないよう

主任司祭 B・ノヴァク

カトリック教会のカテキズムが教えている通りに、「教会は、毎年、四旬節の四十日間を通して、荒野でのイエスの神秘に心を合わせます。」(540)誘惑者であるサタンは、神の御独り子であるイエスさえも誘惑するのを試みたわけですので、キリストに従おうとしていない私たちも同じ試みの対象になっても不思議ではないでしょう。

イエス・キリストが与えられた誘惑とか、アダムとエバが与えられた誘惑を見ると、誘惑とは、必ずしもはっきりとした悪を行うための招きではないことが分かります。けれども、実際に私たちの不幸を望んでいる誘惑者は、私たちのことを大切にしている振りをして、幸せになるために、神が示してくださる道よりも、「素晴らしい道がある」とか、「簡単に短い道がある」などのような嘘によって私たちを神から離れさせようとするのが必ずあるのです。

誘惑する者が、殆どの場合私たちよりも賢いので、私たちは、自分の力だけを頼りにするならば、その畏に陥る可能性は、非常に高いのです。ですから、私たちは、イエスが教えてくださったように、父である神に向かって「わたしたちを誘惑に陥らないように導き、悪から救ってください」(マタ6・13フランシスコ訳)と祈りながら、罪を犯す機会を避けるだけではなく、何よりも、イエス・キリストを自分の人生の土台にして、イエスの教えに従って愛を自分の選択の基準にし、全力を尽くして善を行うように、そして神の言葉を読むことや諸秘跡、特にエウカリスチアとゆるしの秘跡にあずかることによってイエスとの関係を深めるように常に努める必要があるのです。

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

ボーイの新春餅つき大会開催

伊藤 宗太郎

去る1月13日(日)九時半ミサ後、ボーイ97団は毎年恒例の新春餅つき大会を開催した。当日は曇天だったが、風がなくやや暖かかった。子供達は早朝から元氣よく嬉々と集まつてきた。臼を温めるためかまどにどんどん薪をくべ、お湯を沸かし始めた。

今年には寒風も小雪もなく、保温もよくて順調にもち米が蒸しあがった。ノロウイルス感染の危険があったので、餅をこねる子供達には全員ゴム手袋をはめさせた。ペタンペタンと餅がつきあがると、黄な粉餅、大根おろし、ぜんざい、お雑煮などを調理した。

参加した外国の人々は石臼と杵による餅つきの仕草に関心を持ち、盛んにカメラで撮影したり、自分で餅つきにチャレンジしていた。こども達、信者の人達、英語ミサの外国の人々が大勢参加して、ワイワイ、ガヤガヤと盛り上がった。お餅がすぐ

お箸を持って順番に並ぶ始末。早く早くとせきたてられ、お昼までに十臼もついてしまった。新春の餅つき大会は大成功であった。

ボーイの子ども達ばかりでなく、教会信徒の方々、外国人達、近隣の人々と親睦の輪がひろがってヨカッタ！

お餅もオイシイと好評だった！ご協力アリガトウございました。



ボーイ冬山スキーに挑戦

伊藤 宗太郎

去る1月25日から27日まで、教会のボーイ隊は二泊三日のスキー訓練に出かけた。岐阜県高山地方「朴の木平」ヘスカウト9名を含め家族リーダー27名が賑やかにバスで出発した。

現地は猛吹雪で一寸先も見えないほどの荒れ模様だった。それでも子供達は元氣よく、カラフルなスキーウェアでリフトに乗り、スキーに挑戦していた。だが、肌刺すような寒気にいささか閉口した。

それでも最終日の天候は晴天で暖かかった。滑ったり転んだりしてスキーの醍醐味を満喫したと思う。27日夕方に教会中庭に全員無事に帰ってきた。アア！寒かった！

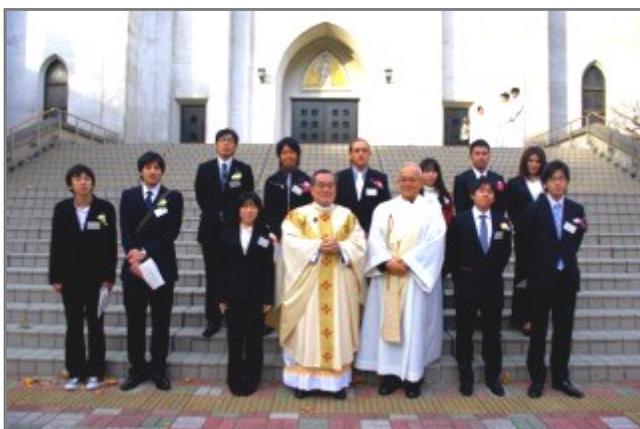
司教様を囲む新年の集い

1月20日(日)14時からカトリック布池教会にて司教様を囲む新年の集いが行われました。

ミサの中では新成人の祝福が行われました。南山教会からは松浦友助さんが参加し、祝福を受けました。

ミサ後は地下ホールにてティーパーティーが行われました。濃尾ブロックが担当し、持ち寄り形式でした。

左は新成人と司教様の記念写真





5. 「陰府に下り、三日目に死者のうちから復活し」た。

B・ノヴァク神父

創造主である神は、初めから人間が永遠に神の愛に生きることを求めておられましたので、人間を自由意思を持つ、つまり愛する能力のある不滅な存在として創造してくださいました。

残念ながら、人間は、神の導きに逆らって、自分の勝手な思いに従って幸せになろうとして、幸福の源であると同時に命の源である神から離れてしまったのです。結果的に、聖パウロが教えている通りに「一人の人に

よって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだように、死はすべての人に及んだのです。」(ロマ5・12)

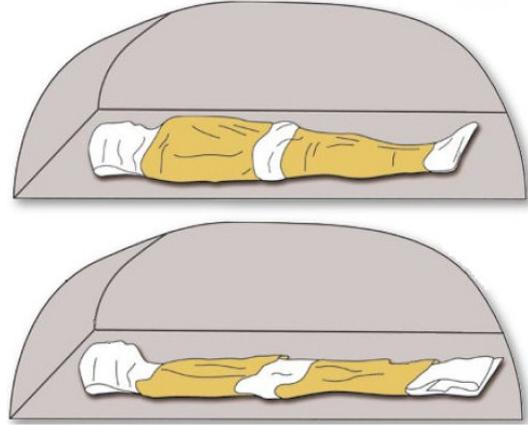
復活が可能になる前に、霊魂は人間の体から離れた後に、陰府と言われていた「ところ」に行つたとユダヤ人たちが信じていました。私たちは、イエスが「陰府に下つた」と言うときに、イエスが人間として本当に死んだこと、イエスの霊魂が他の死者の場合と同じように、「死者の国」に入ったことを認めるのです。しかし、イエスの場合は、それが終わりではありませんでした。イエスは、復活したので、神の神性を所有しているゆえに死ぬことのない御独り子としてだけではなく、私たちと同じ人間性を持つ人間としても永遠に生きるようになったわけです。

復活が可能になる前に、霊魂は人間の体から離れた後に、陰府と言われていた「ところ」に行つたとユダヤ人たちが信じていました。私たちは、イエスが「陰府に下つた」と言うときに、イエスが人間として本当に死んだこと、イエスの霊魂が他の死者の場合と同じように、「死者の国」に入ったことを認めるのです。しかし、イエスの場合は、それが終わりではありませんでした。イエスは、復活したので、神の神性を所有しているゆえに死ぬことのない御独り子としてだけではなく、私たちと同じ人間性を持つ人間としても永遠に生きるようになったわけです。

イエスが復活していたところを誰も見ていなかったようです。しかし、イエスが本当に復活したことを裏付ける幾つかの歴史的な事柄があります。まずそれは、空になった墓です。イエスが葬られた墓が空になったことを伝えているのは、実際にそれを見たイエスの弟子だけではなく、イエスの墓を警備していたローマの兵卒と、弟子たちがイエスのご遺体を盗んだと言いつつ、お金を払った祭司たちです(マタ28・11、14)。

イエスの墓が空になったという事柄の中には何もなかったという事柄だけではなく、ただイエスのご遺体が無くなっていたという事柄だけではなく、イエスのご遺体が無くなつても、ご遺体を包んでいた亜麻布が残っていました。しかしそれは、誰かがこの布をイエスの体から外したような状態ではなく、イエスの体がそれを包んでいた亜麻布の中から蒸発したかのように(下の図参照)、体を包んでいたときの状態そのままに置いてあったのです。恐らくそのため、「先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた」(ヨハ20・8)でしょう。弟子たちの証言に基づいて

新約聖書が伝えている通りに、復活したイエスは多くの弟子たちを現し、40日に渡って何回もご自分も、弟子たちは、復活したイエスに会つても、イエスが復活して生きていることをすぐに信じただけではなく、初めのうちはイエスが亡霊であると思つていたようです。使徒たちの「不信仰とかたくなな心をおとがめになった」(マコ16・14)イエスは、亡霊でないことを証明するために、亡くなる前と同じように食べたし、傷跡を見せて、この傷に触れること、またその中に指や手を入れることを許したのです。「そして、マタイが報



2013年2月3日

司祭団より

南山教会におけるストーリーカー問題と弱い立場におかれている人々を守る必要性について。許可無しに侵入し、個人的な目的のために使用する人がいるので、マリア館の集會室とホールには鍵をかけるようにした。

報告事項

司教様を囲む新年の集い

1月20日14時よりカトリック布池教会にて行われた。新成人の祝福もあった。南山教会からは新成人1名が参加。

次年度各会委員名報告依頼

2013年度運営委員の名前を3月運営委員会で各会から報告する。

納骨堂建設委員会より現状報告

設計が最終段階に入っている。2月17日の説明会后、募集を開始する。完成イメージが示された。

掲示板掲示内容の注意事項

しっかりとアピールできるように

に、言葉だけでなく絵や図など視覚に訴える要素を入れてほしい。

東日本大震災支援の活動報告会

教区社会福祉委員会の主催により、1月27日(日)南山教会マリア館にて行われた。90名ほどの参加があった。

現地に行った方からの報告があった。被災地の方々の中には、見学だけでも良いから現地にきてほしいという思いが強くある。心が洗われるような報告であった。

マリア会からは毎月手作り品の販売収益を送っている。

物理的などころはかなり落ちてきてきているが、心の問題はまだまだ未解決。

南山教会来年度行事予定表の掲載内容準備

各会で予定している行事は2月末までにボクダン神父様にお伝えする。3月の運営委員会で点検し、4月に最終確認を行うことから皆さんにお知らせする。

1月20日9時半ミサ中の救急患者搬送について

教会のストレッツチャーで聖堂玄間まで搬送した。

本来の救急車が修理中であつ

たため、当日来た救急車が代車であり、車高が低かったので坂を上れず、ストレッツチャーを押して上って来ていただいた。

本来の車なら坂を上ることができ

このことについて消防署に問い合わせたところ、迅速に対応していただけた。

まわりの若い人の反応がよく、近くにいらつしやった医師の水谷さんも適切に対応してくださった。

ストレッツチャーの使った訓練をしておいで良かった。

救急車を呼んだ場合は、誘導係が必要。

審議事項

教区年間テーマに基づく南山教会の取り組み

皆様からいただいたアイデアを共有して検討した。

すでに取り組んでいることがいろいろある。取り組んでいることを皆様によく知っていたいくようにしていく。

普段から取り組んでいることに積極的に参加していけるようにする。

四旬節と復活祭の典礼・祭儀・

パーティー等の確認

今年の御復活は3月31日。

共同回心式・黙想会は3月16日(土)17日(日)

聖週間の典礼は19時から

復活徹夜祭と復活祭のヨセフ会ミサ当番は2班体制で行う。

パーティーは持ち寄りで行う。復活のパーティーはお昼の時間に行われるので、パーティーではなく、ご飯ものやサンドイッチなども用意する。

納骨堂管理委員会規約内容の検討と承認について

1月15日に名古屋市に許可申請を提出し、1月28日に名古屋市長名の許可証が発行された。

今後、建設に向けての資金集めが必要。そのためには規定を整備し、銀行口座を開設する必要がある。

納骨堂建設委員会が作成した規定が示され、検討・承認された。

「聖母の子等会」の遺骨を南山教会の納骨堂に引き受けること、当初は名古屋教区内の南山教会以外の教会にも募集をかけることを確認した。

永代祈祷の期限は40年とす

る。更新は可能。更新しない場合は御遺骨を納骨室の地下スペースへ移す。

永代祈祷料は、4人用が48万円、8人用が78万円、共同収蔵が18万円。

骨壺のサイズには制限がある。4号以下の大きさ。

墓参は原則9時～17時まで。

カードキーを持っていないと中に入れないようにする。

納骨堂内は火気厳禁。これは名古屋市の指導によるもので、誓約書を出している。

納骨壇には所定の銘板以外の添付をしない。

献花は所定の場所にする。

骨壺には名前シールを貼ることになるだろう。

申込者と収蔵される方の関係を確認する仕組みを整備する必要がある。

今後、早急に銀行口座を開設する。

各会報告

英語ミサ

2月10日の日英合同ミサのリーダーはクツさん。役割は朗読と共同祈願のみ。アナウンスは日本語のみ。先唱は泉氏。英語の歌は無し。

マリア会

東日本大震災支援バザー

2月7日例会69520円

2月1日例会70580円

教会からカリタスジャパンを通して寄付した。

中高生保護者会

前年度に引き続き、東日本大震災からの復興支援のため、第3回は中学生も保護者と一緒にご協力いただき、売り上げ金の23604円をカリタスジャパンを通じて寄付した。

ロザリオを製作し、10月の教会バザーの折に販売した。皆様にご協力いただき、売り上げ金の23604円をカリタスジャパンを通じて寄付した。

3回は中学生も保護者と一緒にご協力いただき、売り上げ金の23604円をカリタスジャパンを通じて寄付した。

23604円をカリタスジャパンを通じて寄付した。

23604円をカリタスジャパンを通じて寄付した。

教会学校

1月6日、皆で集まって坊主めくりをした。

青年会

2月3日・24日16時～18時
ニコ師の部屋で集まる。

2月9日～10日
「NWM in 大阪」

南山教会から2名参加予定。

3月9～10日
「WYD in 多治見」に参加の予定。

典礼委員会

1月20日 典礼委員会

2月10日 9時半ミサで聖信式

2月11日 名古屋教区典

礼研修会

2月13日 灰の水曜日7

時19時

2月17日 洗礼志願式

3月10日 子供ミサ

3月16・17日 共同回

心式・黙想会
典礼委員会

3月24日 受難の主日

枝の行列があります。

以下過ぎ越しの3日間

3月28日 主の晩餐のミ

サ

3月29日 主の受難の典

サ

3月30日復活徹夜祭

聖ラザロ村友の会

クリスマス献金で新年2

月4日に44万円韓国へ送金。円安の情勢なので早急に実施。

次回は3月3日

2月17日ミサ後の各会紹

介は
中高生保護者会。

カトリック教会カテキズムより

1373「死んだかた、否、むしろ、復活させられたかたであるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださいののです」(ローマ8, 34)。このキリストが、さまざまなかたで教会に現存されます。ご自分のことばのうちに、ご自分の教会の祈りの中に、「二人または三人が〔ご自分の〕名によって集まるところには、その中に」(マタイ18.20)、また、貧しい人、病人、囚人のうちに(201)、ご自分が制定された諸秘跡のうちに、ミサのいけにえならびに司式者のうちに現存されます。しかし、「とくに、聖体の両形態のもとに現存しておられる」のです。

1374聖体の両形態のもとでのキリスト現存のあり方は比類のないものです。そのためにエウカリスチアは、他の秘跡よりも上位のものとして、いわば、霊的生活の完成、すべての秘跡が向かう目的」となります。至聖なる聖体(エウカリスチア)の秘跡には、わたしたちの主イエス・キリストの靈魂と神性とに結ばれたからだと血、つまり、全キリストが真に、現実に、実体的に現存しておられます。「この現存を『現実の』現存といいます。それはそれ以外の現存が『現実』ではないのでそれらを除外するという意味ではなく、神であり人である全キリストが現存するようになるという実体的現存の崇高さのゆえなのです」。

南山句会

平成二十五年一月九日



初雪や見慣るる木々の化粧して

とく子

樅の木の瑠璃の点滅弥撒始め

義子

初日の出平穩無事と祈りをり

美智子

淑氣満つ能楽堂の四海波

瑞子

角帯の夫を偲びて初詣

眞喜子

初明り地球ゆるりと回りけり

洋子

庭石に日陰のありて実万両

紀子

亡き友にロザリオ繰りて寒の入り

せつ子

それぞれにお世話受けて春迎へ

光子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

結婚

♡ お幸せに ♡

1月20日

玉田明日人 ♡ マリア小出絵美

帰天

ご冥福をお祈りいたします

1月14日 アウグスチヌス松永史朗 (87歳)

1月25日 マリア井上アキ子 (70歳)

1月28日 エリザベト・テレジア中尾初生 (87歳)

転出

いつまでもお元気で

テレジア福本邦江 (片瀬教会)

エリザベト・ルスル木村洋子 (上尾教会)

転入

ようこそ

マリア・モカ塚原ゆかり (布池教会)

リマのローザ 高野明香 (布池教会)

リジューのテレズ 高野千裕 (布池教会)

イグナチ・ロウ松岡浩 (吉祥寺教会)

教会維持費

1月は1,579,532円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願いします。

2013年2月・3月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
2月	13(水)灰の水曜日 (大齋小齋) 17(日)四旬節第一主日	10(日)9:30 堅信式・日英合同ミサ 13(水)灰の水曜日のミサ7時と19時 17(日)洗礼志願式 17(日)11時納骨堂の説明会	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 10(日)典礼委員会 (日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 23(土)要約筆記付きミサ	13(水)四旬節愛の献金(四旬節中) 21(木)司祭協議会 28(木)司祭評議会
3月	19(火)聖ヨセフ 28(木)聖木曜日 (主の晩餐) 29(金)聖金曜日 (主の受難・大齋・小齋) 30(土)聖土曜日 31(日)復活の主日	10(日)子供のミサ 16(土)~17(日)南山教会四旬節黙想会・共同回心式 30(土)19:00復活の徹夜祭・洗礼式 31(日)日英合同ミサ(9:30)復活祭パーティ	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)運営委員会 (日)ヨセフ会班長会 10(日)典礼委員会 16(土)10:30子ども部屋 23(土)要約筆記付きミサ 24(日)教会学校・中高生会卒業式	1(金)世界祈祷日 23(土)教区評議会 28(木)聖香油ミサ